

要請番号（JL54517A20）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	C101 食用作物・稲作栽培		グループ型	交替6代目	2年	・2017/3・2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業・畜産・水産省

2) 配属機関名（日本語）

ブリンディ地域農業調査開発研究所

3) 任地（ホイマ県ブリンディ） JICA事務所の所在地（カンパラ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約5.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、農業分野の研究・技術開発を行う国家農業研究機構の傘下にある研究所である。ウガンダ北西部を管轄し、農業に関する試験・技術普及・研修を実施している。JICAの協力のもと、本研究所ではイネの品種試験、研修や種子の配付を通じた稲作普及活動が展開されており、JICAの技術協力プロジェクト「コメ振興プロジェクト」の専門家が定期的に訪問し、技術支援を行っている。現在、1名のJV(食用作物・稲作栽培)がJICA専門家と現地研究者と連携しながら、稲作に関する栽培試験、種子増産の支援を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2008年に開催された東京アフリカ開発会議において、サブサハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることが目標に掲げられた。ウガンダ国においても食糧安全保障の確保、農家の所得向上を通じた貧困削減のために一層の稲作普及が求められている。現在、配属先では、現地職員たちがJICA専門家の協力のもと、優品種改良や栽培方法の改善のための圃場での実証実験、種子増産などを行っており、それらの業務を前任のJV(食用作物・稲作栽培)が現場で支援している。同JVは、研究所での活動に加え、近隣農家を訪問し、稲作に関する技術支援も行っている。配属先は、派遣中のJVの活動が発展的に継続されることを期待しており、今回、後任の要請がなされた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 研究所内でのプロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施
2. 近隣農家との協力による農家圃場での実証試験の実施
3. 研究所周辺の稲作農家及び新規で稲作を行う農家への技術的な助言

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

試験・実験機材一式、稲作の試験圃場

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・コメに関わる研究の従事する職員: 2名(男性)
- ・圃場管理を行う作業員: 数名(コメ担当は1名、男性)
- ・近隣の農家

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）農学 備考：栽培試験等を行うため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（15～30℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】